

◎3月5日(日)開催 第3217回例会
単独例会 ふるさと兵庫100山
播磨灘へ向かう道「小富士山へ」

布引支部 南 雅世

今回の小富士山は手元にあるガイドブックに紹介されていた兵庫県27山のうちの一つで、目下この27山制覇を目指す私は迷わず参加を決めました。当日は8時半にJR御着駅に集合。



JR 曾根駅に集合した参加の皆様

登山口まで古い街並みをしばらく歩きました。この辺りは姫路の産業の一つである皮革製品の工場が点在していて、また80余りもの古墳があるそうです。



街中をくるくる廻って登山口へ

小学校横の登山口に着くと、そこからはいきなり急斜面に。会長の「今日の山はふるさと兵庫100山の中で一番低い山」とのお言葉に、「らくち〜ん」と気を抜いていた私は少々わけぞりましたが、途中を振り返っては下に見える街並

みを眺めつつ登りきると古いお寺が現れました。



行者堂(通称・華厳寺)をバックに記念写真

このお寺、華厳寺は明治維新まではふもとにある麻生八幡宮の奥の院として信仰を集めたそうです。また修験の場としても多くの方がこの山を訪れたそうです。お堂の周りには石仏がずらりと並んでいました。



歴史を感じる石仏群。何体あるかな〜?

程なくして小富士山山頂(173m)に到着。



これから行く仁寿山はすぐ西側に!

参加された皆さんは目を凝らして姫路城を見つけては盛り上がっていました。集合写真のあとは次なる山”仁寿山”へ。



バラボラアンテナが目立ちます！

岩がむき出しの急斜面を下りに下って、途中からは車道沿いの「緩やか遠回り組」と「急峻な近道組」に別れ、どちらが先に着くか競争！！山頂に着くと元来た小富士山とこれから向かう御旅山が望めました。ここで昼食をとり11時には三つ目の山を目指して出発。



御旅山遠望！

遮るもののない、目の前に広がる景色にすがすがしい気持ちで山を下り、姫路バイパスにかかる陸橋を渡り住宅地を通り抜け、たどり着いた登山口には木製の手作りの案内板がかけ

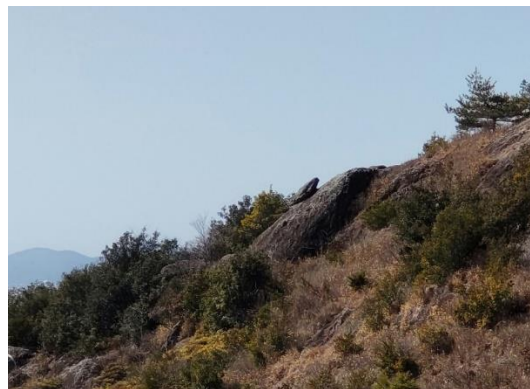
られ、地元の方々に大事にされている山だということが伝わってきました。そして12時半に御旅山登頂。360度見渡せる絶景が私たちを出迎えてくれました。



抜群のみはらし台・御旅山山頂



低山とはいえ豆粒のような姫路城や歩いてきた山々を目でたどることができ、目の前に広がる景色はまるで地図見るようでした。眼下に見える市川は革製品を作る際に必要な川漬け工程に現在も使われているそうで、水に含まれているミョウバンが質の良い製品を作り上げるのだとか。しばし思い思いに四方の景色を堪能しました。下山途中には大きな岩の上にちょこんと飛び乗った蛙(岩)が見送ってくれました。



蛙岩

そしてゴールの山陽妻鹿駅まで民家をぬって歩いていると町民の方が「灘の喧嘩祭りの神輿を見せてあげる」とお声をかけてくださり資料館に案内してくださいました。そこには引退した立派な神輿が展示されていてあちこちから感嘆の声が聞こえてきました。



資料館に展示されている先代の神輿

この喧嘩祭りは毎年10月に三つの神輿を激しくぶつけ合い七つの休村の屋台を練り競う播磨を代表する大規模なお祭りだそうです。こうしてJR御着駅から山陽妻鹿駅までの三山縦走をポカポカ陽気の中、最後に嬉しいサプライズ付きの心地よい、そして楽しい山歩きとなりました。

天 気 晴れ

参加者 26名